

E.R.F.C.

Newsletter 2002 vol.3

【清里ミーティング始動！】

昨年に引き続き今年も実行委員長を務める豆蔵こと小関です。そんなわけで、今年も清里ミーティングの開催時期が近付いてきました。

今年の日程は文科系ろどすたクラブと謳われるERFCの名にふさわしく(?)11月3日の文化の日。ちょっと開催時期は遅目ですが、翌日は振替休日ということもありちょっと余裕をもって参加してもらえる…かな?と少し思っています。

場所は去年と同じく清泉寮メインホールと第3駐車場。まだ今年のゲストは公表できませんが、私自身も楽しみにしています。

参加企画はおなじみのなんでもコンテスト。今年も気合いの作品からユニークな出品、アツと言わせるお宝まで参加をお待ちしています。

また、お昼休みにはスワップミートも予定していますのでこちらもどうぞよろしく。そして実は清里一番の人気企画?! 年々お弁当屋さんとともに弛まぬバージョンアップを進めている清里弁当も2002年版の登場です。(^-^)

そんなわけで、例年参加の皆さんの期待を超えはできないかもしれませんが、期待を裏切ることはいないであろういつもののんびりまったりな企画で皆さんのご参加をお待ちしています。(No.529 豆蔵)

【なんでもコンテスト「2回目だからって手抜きはなしよん」】

昨年リニューアルした「なんでもコンテスト」(通称:なんコン)は、27もの作品が集まるという、皆様のおかげで盛況な出展となりました。

そのどれもが、ロードスターを愛する参加者の気持ちを、ストレートに反映された作品ばかりで、投票する側にとっても、どれをどういう理由で選んだらいいものか、悩ませるものばかりという、企画側にとってはこれ以上無い嬉しい悲鳴を上げる状況で終わりました。

さて、今年の清里でも、もちろんこの「なんコン」を開催します。この日のために秘蔵していた数々のろどすたグッズや、その他諸々の作品をこの場でどーんと公開してください。昨年の開催で参加者の皆さんもある程度は、「なんコン」の傾向がわかったのではないのでしょうか。とはいえ作品展示数も増加して少々レベル?も問われるようになってくるかもしれません。(特に立体系などで)

しかし、それだけで入賞?出来ないのも「なんコン」のおもしろいところ。皆さんのアイデアあるろどすたグッズの出展が、思わぬ上位を獲得しないとも限りません。さあ、まずは参加することから始めましょう、ということで今年も昨年以上の作品、品々が会場を埋め尽くすのをスタッフ一同、楽しみにしています。

あ、狙い目は去年なかった絵画系の作品かも?

【フリーマーケット「初めてだからって値引きはなしよん!?!」】

今年もやります、フリーマーケット。「毎年恒例って言われるようになればいいね」って始めた昼休みのフリーマーケットもすっかり定着したようで、スタッフ一同ホッとしながらたいへんよこんでいます。清里ミーティングでこんなにかんたんしている企画って珍しいような…。

いつもと違うのは担当者が変わったこと。きちんと店番ができるのか、代金やおつりの計算ができるのか、ヒジョーに不安だったりしますが…。でもひそかに自分でも出品するものをかき集めているところだったりして、今年も意外な掘り出し物があるかもしれません。

もちろん出品する方がいてこそ成り立つフリーマーケットですから、売りたいものがある方はどしどし持ってきてくださいねー。

< 第13回 E.R.F.C.清里ミーティング概要 >

開催日	2002年11月3日(日・文化の日)
時間	9:00～15:00(雨天決行)
会場	(財)キープ協会 清泉寮(山梨県北巨摩郡高根町清里)
参加台数	100台(ゲスト・スタッフは除く)
参加資格	ロードスターを愛する人なら誰でもOK
参加費用	お一人さま(18歳以上)¥6000で、当日会場でお支払い下さい。 昼食のお弁当代を含みます。同伴者も同額です。 18歳未満の方は無料ですが、お弁当が必要な場合は別途ご相談下さい。 なお、E.R.F.C.2002年度会員は¥5000です。

< 応募要綱 >

申し込み方法は次の二通りの方法があります。どちらかご都合の良いほうをお選びください。

1. はがきによる申し込み

「車1台につきはがき一通」でお申し込みください。

それ以外の場合は受けつけしない場合があります。

はがきに

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号(申し込み内容の確認をする場合があります)
 - ◆ お名前(E.R.F.C.会員は会員番号も)
 - ◆ 乗ってくる車のナンバー(ロードスター以外の方は車名も)
 - ◆ その車に乗ってくる人数(18歳未満でお弁当が必要な方はその人数も)
- を必ず記述してください。

2. E-Mail による申し込み

「車1台につきメール一通」でお申し込みください。

メールの subject の先頭に「清里申し込み」と入れてください。

それ以外の場合は受付しない場合があります。

メールの本文に

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号(申し込み内容の確認をする場合があります)
 - ◆ お名前(E.R.F.C.会員は会員番号)
 - ◆ 乗ってくる車のナンバー(ロードスター以外の方は車名も)
 - ◆ その車に乗ってくる人数(18歳未満でお弁当が必要な方はその人数も)
- を必ず記述してください。

締め切り

ハガキ、e-mailとも10/25(金)必着です。

ただし申し込み台数が100台を越えた場合はそれより前に締め切る場合があります。

受付の確認

はがきまたはメールの到着後7日もしくは10/30(水)までに受付確認用の資料を発送(郵便です)いたします。もしそれを過ぎても連絡の無い場合はハガキもしくはメールでお問い合わせください。
また残念ながら受付をお断りする場合は必ずこちらからご連絡いたします。

注意

締め切りをお守り下さい。

申し込み内容や申し込み方法に不備がある場合、無効になる場合があります。

ご不明な点やご質問は、ハガキまたはメールで事務局までお願い致します。

(なお同内容のものを、当クラブ web 上でも近日中に公開予定です。)

【お便りコーナー】

ERFC 事務局御中

日々の活動、お疲れ様です。私的ネタながら、入籍 引越しのドタバタにかまけてすっかり通信費の納入を忘れており申し訳ありません。遅くなりましたが、8月14日付けの扱いで東京三菱銀行へ振込いたしました。

ロードスターを手放し、更にプジョー205GTI からプジョー306Break へ乗りかえる事になりました。残念ながら今年の清里は結婚式の翌日となってしまったため行けませんが、ご成功をお祈りしております。(No.0686 岩井 大祐)

暑中お見舞い申し上げます。相変わらず払いの悪い会員で申し訳ありません。

リストラで職場が変わり、近くに郵便局もなく、ごたごたしてー。言い訳はともかく、一番残念なのは新宿へ電車通勤となり、ロードスターが埃をかむっていることか。

今年は、何とか秋の清里に行きたいものです。では。(No.660 赤松 嘉之)

【さらば、アルファ145】

みなさまこんにちわ。お宅のろどすたは元気に走り回っていますか？。元J2乗りの尾張屋@145ことふじいと申します。

と、言っても@145は返上しなくてはなりません。表題通り「さらば145」でことでアルファを降りることにしたからです。何故そうしたのか、次はどうするのだと激しい突っ込みを入れてくる悪友も多々ありますが、まずはこれまでのアルファの具合というか、これまでの総括？も含めてお話をしたいと思います。

モダンアルファの一台である145は147の登場で世代交代をしたというところでしょうか。さらに先鋭化した147はメカ的にも更に完成度を上げて新世紀のアルファを代表する一台となっています。その一つ前に当たる145と比べてはいろいろ古くなってしまった部分もありますので、あえてそうはしませんが、まあNAとNBの関係にも似た感覚というところかもしれません。

私が乗っていた間には、145がメカトラブルを(特に走行に関係するような)起こしたことは一度もありませんでした。オイルさえこまめに換えてやれば、エンジンの調子も問題無く、ようするに、このクルマは日本車とは違うのだということを十分に認識して接していれば非常に楽しめるクルマであることに間違い無いということです。ろどすたとは絶対に違う一点を除いてはです。

さて、日本車と違うということ、それはあらゆるところで見られるのですが、これをどう解釈するかドライバーだけでなく、パッセンジャーも含めての重要な問題となりました。というのは、アルファと言ってもこの145は錆や電気系統で深刻なトラブルを起こしていた時分のクルマではありません。多少、ほったらかしでも問題無く作動し、十分に走るクルマだということは、現在のイタリアで普通の2BOXカーとして扱われるという至上命題を背負っている限り当然であるといえることからです。ですから、旋回半径がでかくても、エアコンの効きがとろくても、ペダルレイアウトに不満があっても乗り手が理解している限り何の問題でもないと思えるわけです。

しかし、そうした主観的な事柄を除いて純粋にこのクルマを乗りつづけていこうと考えていく場合、最初に承知していたことでも再び無視できない問題として浮上してきたことが、維持して行きたいという自分の意思を挫くに充分なものであることは、結果としても残念でなりません。何やら回りくどい言いまわしになりましたが、ようするに「お金」ですね。

輸入車としては弱小勢力に属するフィアット・アンド・アルファロメオ・ジャパンが占めるシェアはほとんどわずかでありません。それでも147、156の急伸長で前年比ではかなり伸びているのですが、それでもVWやベンツに比べればほんのわずかです。そんな状況が関係しているかどうかはわかりませんが、プジョー、VWなどと比較してもパーツ類の値段や作業工賃は高めです。確かにそういうことは購入以前にわかっていたことですが、故障が減ってきて一度の出費は大きいのです。それ以上に問題かもしれないのが、ディーラーの移り変わりが多々あるということです。正規代理店で購入しても、売上が芳しくないアルファでは半年後にVWに鞍替えしているなんてよくあることです。実際、私の購入したディーラーも潰れました(笑)。それがクルマ自体のメンテナンスを阻害していく状況の一つであることは間違いありません。

こうした出来事は、クルマ自体の持つ素晴らしいパフォーマンスとは何ら関係ないことなのですが、オーナーにいい印象を与えることは無いと思います。まあ、私の場合でもそうした出来事が自身の限界を超えてしまったということでしょうか。あと私的にMTが辛い状況に陥ったことも拍車をかけてしまいました。

繰り返しいいますが、145は2BOXカーとしては本当によく出来たクルマだと思います。人も荷物も十分に積みこめまですし、高速の移動も得意です。椅子の出来も申し分ありません。エンジンの音やアルファであることを感じさせる造りもこれを所有しようと思う人ならば、納得出来るものです。それだけに日本車と同等とまでは言いませんが、一般庶民？でも、もう少しこのクルマを日本で乗ることの出来る環境が整っていたらと思えてなりません。購入当初は考えもしなかったことでも、いざ、遭遇してみるといろいろ問題が起きるものです。

ともあれ、個人的には輸入車に乗る楽しみを少しでも教えてくれたクルマとして、愛すべき一台となったことには何の疑いもありません。 ありがとう、アルファ145。

p.s. あ、それで次はどうしたのか、というお話も恥ずかしながらさせていただきます。てことは日本車だということで、懲りずにまたロードスターに乗ることにしました。つまり出戻りです、今回はNBですが、ろどすたにあって、アルファにないもの。それはオープンになるか否かということですよ。(尾張屋@NB3)

【レディース通信：海外編】

やってしまいました。キーロック！それも、トランクの中……。そんなの珍しくもないし、たいしたことないじゃないかと思われるかもしれませんが、ところがどっこい場所が問題なんです。そう、アメリカのド田舎、南部の端っこ、日本人がほとんど

いないようなアウトレットセンターの駐車場での事なんです。

それも私は一人きり…現地に頼れる日本人もいない…言葉も、専門の内容であれば面と向かってのやり取りくらいは何とかなるものの…というレベル。気がついた時にはボーゼンとしました…

が、どうあがいても自分ではどうしていいかも分からないし人に聞くしかないの、ふっと気を取り直し、誰に聞くかを考えました。そこは、アウトレットセンターですので、お店に行けば現地の人がいます。まあ、どこかのお店といっても、自分が購入した店で近いところがいいいんだろなあ…と考えていました。

で、ふっと近くを見ると、駐車中のBMWをオープンにして一人座っているおじさんがいました。きっと、奥様がお買い物中で付き合いたくないので、待っているのかなあ…？なんて思いつつ、まずは近いところから聞いてみようと思い、声をかけました。これが大正解！の親切な人だったので。事情を説明しまずどうしたらいいかのアドバイスをもらいます。

まず、誰か地元知り合いはいないのか？とか、レンタカー会社の電話番号は分からないのか？など、聞かれましたが、レンタカー会社の伝票は車の中、そのほか頼れる人もなく「No」と答えるのみでした。すると、警察に電話すると来てくれるからあそこに公衆電話があるから電話しなさいと、遠くにある電話を指します。電話なんてそうでなくても分からないのに、その上南部訛りの早口で話されたら、コミュニケーションどころじゃない！ということで、電話だと聞き取れないから電話してくれませんか？とお願いをしました。すると、ご自分が持っている携帯電話で警察に電話してくれました。

日本でいう「110」に電話して、緊急じゃない地元の警察に回してくれと伝えていました。これで、地元につながるのねえ…なんて、もう開き直ってしまった私は、そんなことを聞く余裕もできました。しばらくすると地元の警察に繋がったようで、場所や状況を説明しています。そして、その当事者である私の名前を聞くので答えると、聞き取れないらしく一旦電話を変えます。自分の名前を告げると、相手はバーッ！と話し始めます。そこをさえぎり、またかのおじさんに代わってもらいました。結局、5分か10分くらいで警察官が来てくれるとの事でした。

その間、まだ奥様の戻らないおじさんと話をしていました。奥様はメキシコの方とのことでした。そのため、奥様のお母様とはお話があまりできないし、また、英語の得意でない人が電話等大変なのがよく分るとおっしゃってくれました。そんな話などしていると、警察がやってきました。

日本でも見る、窓の隙間に薄い棒のようなものを差し込んでロックを解除しようとしています。ところが、何度やってもうまくいかないようで、無線で連絡をして、ほかのパトカーが10分くらいで来るからと言い残してその警察官は去って行ってしまいました。あめりかでは、こんな器具をパトカーが持ってるんですね。

そして、またまたしばしの待ち時間…。引き続き、立ち話をしているとおじさんの家族が戻ってきました。奥様とお嬢さん二人です。これで、おじさんは行っちゃうかなあ…？なんて思っていると、何事もなかったように、奥様も一緒に待ってくれます。さすがに、子供達はつまらないのかさささとフードコートに行ってしまいました。それでも、文句いうこともなく、奥様も子供を車に残したままキーロックしたことがあるとか、この辺は田舎だから警察もすぐ対応してくれるんだとか、都会だと何がしかの手数料を取られるとか、はたまたアウトレットでのお買い物についてなど、いろいろなお話をしていました。

やがて、2台目のパトカーがやってきました。今度はどうするのかなあ…？と見ていると、ドアに無理やり隙間を作り、板をはさんで隙間をキープしておき、その隙間に棒を差し込んでドアの内側のドアロック解除ボタンを押そうとしていました。何度か失敗したものの解除に成功し、まず第一段階の車のドアが開きました。

しかし、カギはトランクの中…車はレンタカーで操作も分からず…。その警察官とおじさんと奥さんと私とで車の中を探すけれど、トランクオープナーは見つかりません。警察官は、車のマニュアルを見つけ読み始めます。おじさんはどこかに電話しています。よく聞くと、レンタカー屋に電話していたようで、トランクオープナーの場所を聞いてくれました。ドアの少し目に付きにくい場所にありました。

そうしてトランクも開き、無事私はキーを手にすることができました。この間約1時間、親切なおじさんのおかげで意外にも早く事は片づき、ほっとしたのでした。

そして、警察官とおじさん御夫婦によくよく礼を言い、お別れしたのでした。本当に親切な方にめぐり合い、ドキドキはしたものの人の温かさを実感した出来事でした。

ちなみにこのおじさんは、アラバマ州の海沿い(メキシコ湾岸)のDaphneというエリアでHampton Innというホテルを経営されているそうです。もしそちらの方に行くことがあれば、親切なおじさんが経営しているホテルですのでぜひご利用ください。#一応、お礼のために宣伝しておきました。でも、普通、日本人が旅行で行くようなところじゃないんだよなあ…。(ち@印刷係)

【編集後記】

やっと涼しくなってきましたね。エアコンなしでも寝られるようになったし、この頃は起きると寒くておなかが冷えちゃってるくらいです。みなさんも体調を崩さないようにして、清里ミーティングに備えてください(ちょっと気が早いかな?)。

さて、こないだの事故～修理をなんとか乗り越え、いまだにバッテリーを交換してないうちの黄色いユーノスが5回目の車検を迎えました。ブレーキマスタやクラッチ関係のピストンのオーバーホールをお願いしておいた以外では、ラジエタのアップパーホースが硬化していたとのことで交換してもらいました。いつもは自分で換えてるオイルなども交換してもらったので過去最高額の車検となってしまいました。がなんと予算内に収まってホッとしているところです。

水が漏れまくって足グルマのミニは、ウォーターポンプとグスグスになってたホースを交換したのにまだ漏れます。ラジエタコアとアップパータンクのつなぎ目からクーラントがしみ出していました。ラジエタなんて交換する余裕はありません。とりあえずと思って「水漏れ防止剤」なるものを入れたらびたっと止まっちゃいました。でもしばらくしたら今度は点火系。失火しまくりでまともに走らないんです。デスビの中身をゼーンぶ新品に交換して、ポイントのギャップも調整しなおしてやっと復活。夏はスーパーの駐車場や信号待ちなど、あちこちで止まって動かなくなっちゃうし、足グルマのくせに世話の焼けるヤツです。通りすがりのおじさんが押してくれたりして、なぜか楽しかったりするんですけどね。秋だし、どっかに走りに行きたいですね。(No.590 ひでまる)